

ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド

長期的なパフォーマンスに主眼を置く運用スタイル

※当資料はハリス・アソシエイツ・エル・ピー（以下、ハリスということがあります。）のコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

2017年3月16日

平素は、「ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

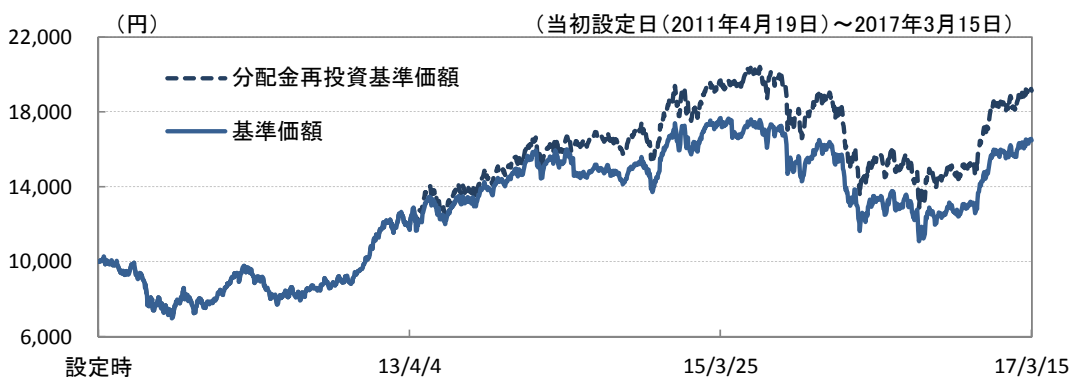
当ファンドの特徴である「長期的なパフォーマンスに主眼を置く運用スタイル」についてお伝えいたします。

2016年以降の市場動向と当ファンドの運用状況

世界の株式市場にとっても、当ファンドにとっても、2016年は値動きの大きな一年となりました。

2016年初は、商品市況の下落や中国の経済成長への懸念などから、2月中旬にかけて基準価額は2015年末から25%超の下落となりました。その後、4月下旬にかけて反発に転じましたが、EU（欧州連合）離脱をめぐる英国の国民投票を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、6月末にかけて再び下落基調となりました。当ファンドでは、このような下落局面を絶好の投資機会と捉え、株価バリュエーションが割安な銘柄の新規組み入れや追加購入などを行いました。

その後、英国のEU離脱をめぐる混乱から落ち着きを取り戻したことや英国および各国の中央銀行が政策協調により市場の混乱に立ち向かうと表明したことなどが支援材料となり、7月中旬にかけて反発に転じましたが、米国の大統領選挙を前に投資家の手控えムードが強まる中、2016年11月上旬にかけてはボックス圏での推移となりました。その後、予想外に米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで、同氏の減税やインフラ（社会基盤）投資などの経済政策への期待から市場のリスク選好が強まったことに加え、11月末のOPEC（石油輸出国機構）総会で減産合意に至ったことで原油価格が上昇に転じたことなどが支援材料となり、米国を中心に世界の株式市場は上昇基調となりました。基準価額も12月末にはほぼ2015年末の水準を回復し、足元では16,500円程度で推移しています。



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

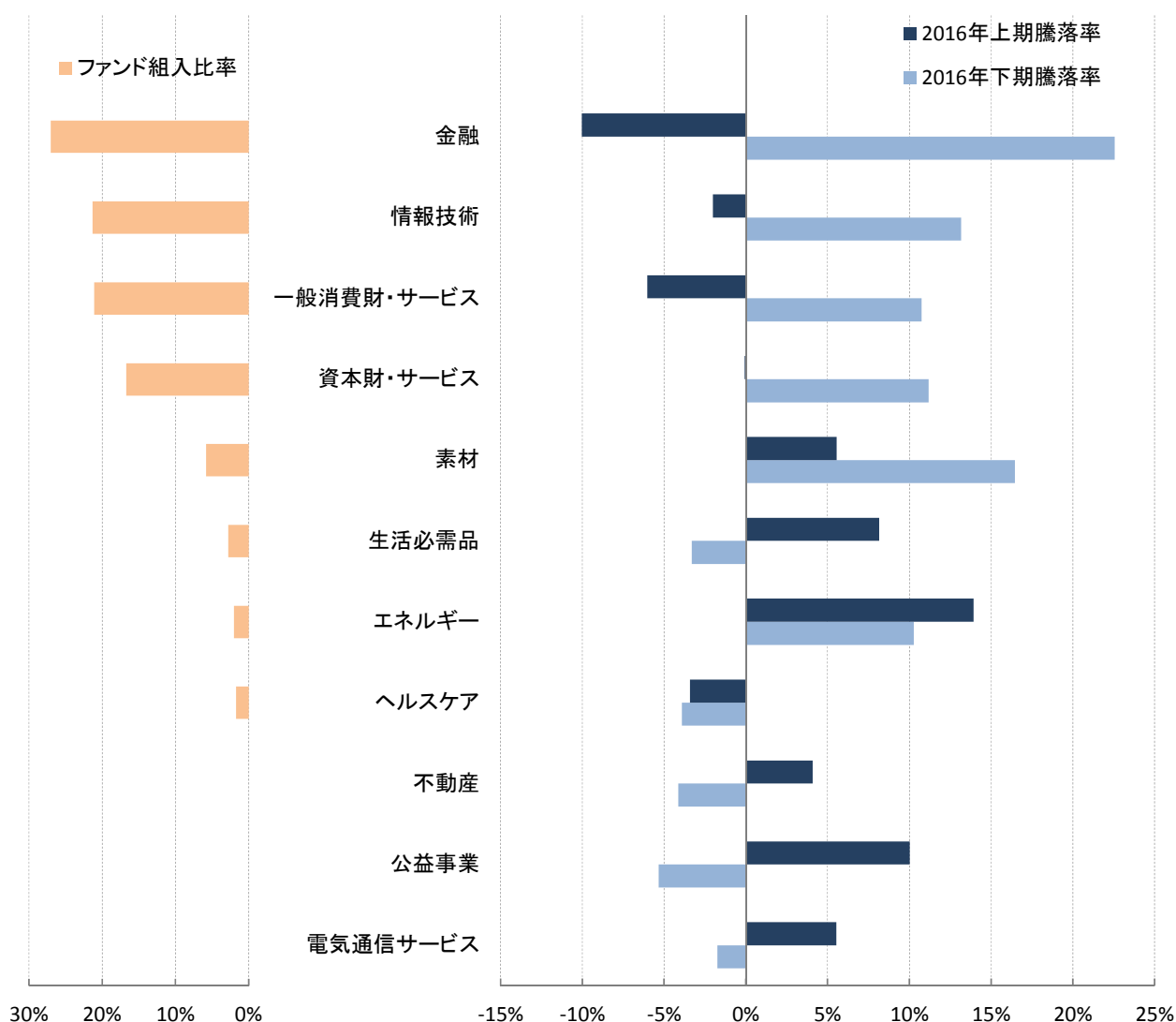
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

運用パフォーマンスは、常に一定の数値が出るものではなく、短期的なリターンは振幅が大きく、一時的なパフォーマンス悪化を避けようとする行動は長期的なパフォーマンスを大幅に悪化させる可能性があります。言い換えれば、短期的なパフォーマンス悪化のリスクを受け入れなければ、長期的に良好なリターンは獲得できないと考えます。

このような意味では、2016年の株式市場の動きは典型的な例だと言えます。市場は、当ファンドが高めの組入比率としていた金融や一般消費財・サービスの銘柄を過小評価していた一方、低めの組入比率としていた生活必需品や公益事業などの銘柄を過大評価していました。2016年7月以降、市場の評価に対する修正がなされ、忍耐強く投資を行っていた当ファンドの基準価額は大幅に上昇しました。

当ファンドの業種別組入比率
(2017年2月末時点、対純資産総額比)

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスの業種別騰落率
(2016年上期・下期、現地通貨建て、配当込み)



※S&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※騰落率は配当なしの指数を基に、大和投資信託が配当込みで計算したものです。

※2016年8月末に金融セクターから不動産セクターが独立していますが、金融セクターの騰落率については、独立前の期間において現在の不動産セクターも含めて計算しているため、比較ができない場合があります。

※MSCIインデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

当ファンドの株式を運用するハリスは、銘柄の本源的価値から30%程度以上割安と判断される銘柄でポートフォリオの構築を行います。このような運用手法は往々にして市場から評価を得ていない企業や業種を選好することにつながります。市場からの評価が低い銘柄を購入する際、その評価の乖離がいつ是正されるかは分からないものの、ハリスとしては、本源的価値に対して30%以上割安である限り(加えて、その本源的価値評価を定期的にモニタリングしつつ)、忍耐強く待ちます。株価と本源的価値の差が縮小するまでに時間を要することもあります。ハリスとしては、長期的に良好なパフォーマンスを達成していくことに主眼を置き、この運用スタイルを継続していきます。

割安な銘柄へ投資するポイント

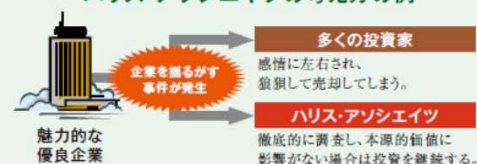
① 企業所有者としての観点から株式の本源的価値を算出

- 対象企業を買収する場合いくらになるかを基に算出
- 「質の高い」魅力的なビジネスを行なっているかを検討
- 実地調査を含む詳細な対象企業の分析を必ず実施

② 本源的価値から著しく割安と判断される銘柄に投資

- 株価が本来の企業価値から30%程度以上割安な水準で投資

ハリス・アソシエーツの考え方の例



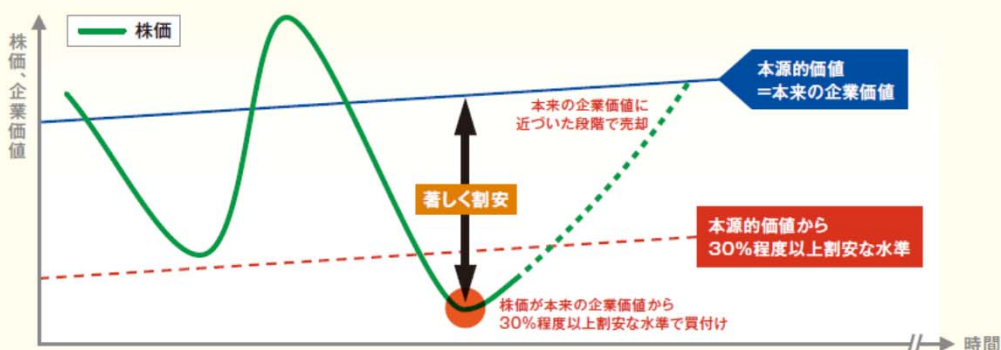
※株式の本源的価値とは…
ハリス・アソシエーツが独自に評価した
企業本来の価値をいいます。

ただ割安だけでなく、
今後も継続して本源的価値の
増大が見込める企業に投資



※右記は、実際の株価、企業価値の水準や変動を示唆、保証するものではありません。
※右記の方針どおりに買付け、売却できることを示唆、保証するものではありません。
※右記は、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンドの投資成果を示唆、保証するものではありません。

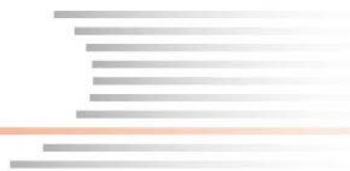
株式の本源的価値と株価(イメージ)



ハリスの運用哲学と今後の運用方針

ハリスではグローバル経済のマクロ的要因を予想し、それに基づいた銘柄選択などの投資判断を行うというトップダウン的な運用手法は行っていない。

世界経済の主役は政治ではなく、消費者であり、その消費者を取り巻く環境は改善が続いていると考えています。世界的に見て、失業率は低下しており、経済危機に見舞われた欧州の周辺国においてさえも明るさが見えつつあります。また、原油価格は回復してきたものの、比較的安価な水準にとどまっています。このような環境下、米国の消費者信頼感指数は2001年以来の高い水準となり、消費者心理が改善していることが分かります。このような環境は2017年に入っても継続しており、消費者心理の改善が経済成長につながると考えています。



ポートフォリオにつきましては、2017年2月末現在において33銘柄に厳選投資しています。当面、本源的価値に対して株価が著しく割安に放置されている銘柄に投資するという投資哲学に変更はありません。また、ハリスでは投資対象の本源的価値を常に見直しています。今後、米国のトランプ政権の政策が明確化することなどで、個別銘柄のファンダメンタルズが好転し、本源的価値が引き上げられた場合、株価が上昇しても保有を継続することもあります。今後とも本源的価値に基づいて銘柄を厳選し、パフォーマンスの向上を目指す所存です。

地域別では、米国に加えて、本源的価値と比較して割安な銘柄が多い英国、スイス、ドイツなど欧州を中心とします。個別銘柄では、金融関連銘柄の中でも、英国の個人向け金融事業において高い競争力を維持している銘柄、金利上昇による収益改善やさらなる自社株買いなどが期待される米国の銘柄、コスト削減と事業リスクの低減、富裕層向け事業の拡大を推進しているスイスの銘柄などに投資妙味があると考えます。

以上

ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の株式の中から、割安と判断される株式を厳選して投資します。

（注）「世界」…日本を除きます。「株式」…DR（預託証券）を含みます。

2. 株式の運用は、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが行ないます。

ハリス・アソシエイツ・エル・ピーによる株式の運用について

以下の方針を基本として運用を行ないます。

- ・世界の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。
- ・投資対象銘柄から、P E RやP B R等の株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。
- ・調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値^{（注）}と比較し割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。

（注）株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。

- ・組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

スイッチング（乗換え）について

- 「ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド」と「ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
- 「ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング（乗換え）による場合のみとなります。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド:世界厳選株
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ:世界厳選株マネー

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「集中投資のリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%（税抜 3.0%） スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	「世界厳選株」 年率 1.944% （税抜 1.80%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
	「世界厳選株マネー」 各月ごとに決定するものとし、各月の 1 日から各月の翌月の 1 日の前日までの当該率は、各月の前月の最終 5 営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に 0.54（税抜 0.5）を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年率 0.972%（税抜 0.90%）を超える場合には、年率 0.972%（税抜 0.90%）とします。	
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

《参考》《ファンドの目的・特色》 ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ

ファンドの目的

- 円建ての債券に投資し、安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 円建ての債券を中心に投資します。
 - ・投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
 - ・「ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ」の運用は、大和証券投資信託委託株式会社が行ないます。ハリス・アソシエイツ・エル・ピーは運用を行ないません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《参考》《投資リスク》 ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

販売会社：

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会